

「ふれあい・いきいきサロン」活動

サロンが必要とされる背景

地域住民による居場所づくり「サロン活動」は、ひきこもりや閉じこもり、孤独といった状況が社会的に問題視され始め、福祉サービスを利用する高齢者の間でも「話し相手がほしい」「いろいろな人とおしゃべりがしたい」という要望が聞かれるようになった平成6年から全国各地で始まったものです。

こうした「サロン活動」の魅力は、デイサービスのように「サービスを受ける人」として参加するものではなく、歩いていけるような身近なところで、高齢者と地域住民がボランティアとして一緒になって、のんびり好きなことをしたり、自由に出入りしたり、友人と行動をとりにしたり、といった自由さがあります。その自由さへのニーズの高まりとともに、サロンの意義や効果が社会的にも認められ、サロンの設置数は右肩上がりに増加しています。



最新の福祉機器を見学

二本松市にある福島県男女共生センターの「福祉機器展示室」において、車イス・介護用ベッドなどの日常生活用品を実際に動かし、最新機能を体験しました。
 (川井友愛サロン・間方いきいきクラブ)

みんなで集まって 楽しもうよ



みんなで気軽に介護予防

体操から始める 元気で長生き (滝谷和楽塾)



社会見学

他の地区のサロンと交流を兼ねて社会見学
 山形県上山市にある「でん六」工場の見学
 (川井友愛サロン・大石田友遊サロン)

社協からの支援は・・・

サロン活動が活発になるよう社協では次のような支援を行っています

「ふれあいサロン」運営費助成金制度のご案内

①運営費の補助

- 月に1回以上、年度内に10回以上開催するサロンへ
- 開催月数×1,000円を補助 (限度額12,000円)
- 新設サロンへ初年度のみ5,000円プラス

②福祉バス利用

年1回のみ利用協力金5,000円で利用できます